

街歩きヒストリア



広島城鬼門守護の寺社の一つでした

鶴羽根神社

二葉の里

②5

鎌倉時代に創建された椎木八幡宮が前身とされ、明治2年（1869）鶴羽根八幡宮と改称、同5年（1872）に鶴羽根神社と改められました。社名は社殿裏の二葉山（椎木山）が、羽を広げた鶴の姿に似ていることに由来します。原爆投下により社殿一切は倒壊しましたが、石鳥居、石灯籠、石畳の太鼓橋などは難を逃れ現存しています。

二葉山山麓の七つの寺社には、近年それぞれ七福神が祀られ、「七福神めぐり」として人気を集めています。鶴羽根神社は、芸事・財宝の神様である弁財天。どちらも縁のない私ですが、今年こそはあやかりたいものです。

（文・小川敏明さん）



中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。公募で集まった制作スタッフが編集します。